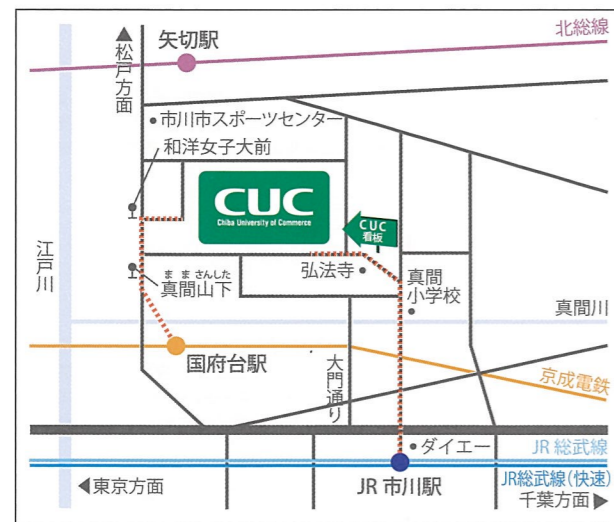
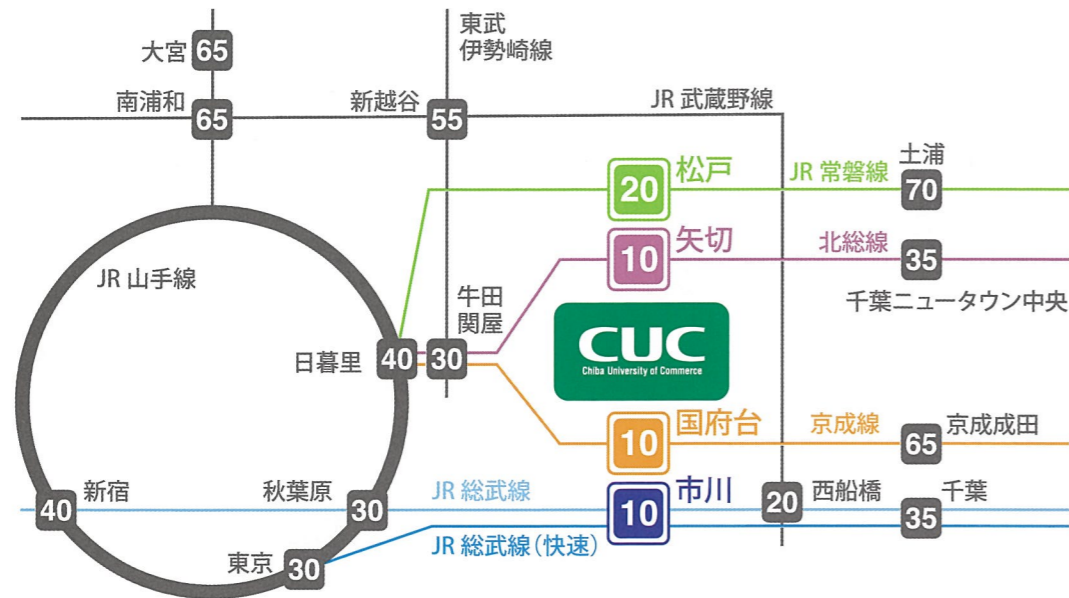


## 本学までのアクセス

◆ 数字は本学までのおおよその所要時間(分) ◆ 乗換などの時間は含みません。



..... 徒歩ルート

各最寄り駅からのおおよその所要時間

- 京成線国府台(こうのだい)駅から徒歩10分。
- 北総線矢切駅からバス10分。  
京成バス市川駅行き、「和洋女子大前」下車。
- JR総武線市川駅からバス10分。  
北口京成バス1番乗場から松戸方面行き、「和洋女子大前」下車。または徒歩20分。
- JR常磐線松戸駅からバス20分。  
西口京成バス3番乗場から市川駅行き、「和洋女子大前」下車。

# 産学協働による 学生の社会的・職業的 自立を促す教育開発

## 自律的人材育成のための PBL型インターンシップの高度化



**CUC** 千葉商科大学  
Chiba University of Commerce

■ 教育革新センターオフィス

【住所】〒272-8512 千葉県市川市国府台(こうのだい) 1-3-1

【TEL】047-373-9757 【E-mail】jim-eic@cuc.ac.jp

web [www.cuc.ac.jp](http://www.cuc.ac.jp)

**CUC** 千葉商科大学  
Chiba University of Commerce

# 一人ひとりの将来の希望を かなえるキャリア教育

## 平成24年度 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」

千葉商科大学では、関東甲信越地方の17大学・短期大学と連携して申請した「産学協働による学生の社会的・職業的自立を促す教育開発」が平成24年度 文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択されました。文部科学省大学改革推進事業では、平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」、平成22年度「大学生

の就業力育成支援事業」に続き、3事業連続での採択となりました。本学では、この事業を積極的に活用し、学生の社会的・職業的自立を育むために、本学の伝統である実学教育を充実させ、学生一人ひとりの将来の希望をかなえるキャリア教育を、入学から卒業までの大学4年間の学びの中で体系的に拡充していきます。

## 産業界が求めている人材育成のための取り組み

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」では、本学を含む大学グループが地域、企業、経済団体、自治体等（以下「産業界等」と産学協働の連携を強めることで、産業界等のニーズに対応した人材の輩出をめざします。

本学の具体的なテーマは「自律的人材育成のためのPBL型インターン

シップの高度化」の推進です。このインターンシップの高度化によって学生は単なる職業体験にとどまらない、産業界等で必要な知識や技術を身につけます。これまでの本学キャリア教育の取り組み（第1ステージ）を更に発展、充実させ、第2ステージとして右図の5つの取り組みを行って参ります。

### 産業界が求めている能力

これからますます必要とされる能力

#### ソフトスキル

仕事を行うために必要な能動的な能力（主体性、創造力、コミュニケーション力など）

これまでの日本の教育が伸ばしてきた能力

#### ハードスキル

職務で必要とされる専門知識や技量などの学力や資格

「ソフトスキル」と  
「ハードスキル」を共に育む  
新しい教育体制が必要

## 第1ステージ

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」

平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」

### キャリア教育の 開発・拡充・体系化

#### キャリア教育支援戦略

企業との信頼関係を構築し、本学独自の就職支援を実現

#### キャリア・アップ科目の体系化、キャリア・カルテの開発

4年間を通じた職業観・勤労観の涵養

#### 資格取得支援体制の充実

社会に出てからも生きる専門知識の習得と学部教育との連動

## 第2ステージ

## 本学が進めている独自の新しい教育体制

平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」



### 課題解決型 インターンシップの実施

この「課題解決型インターンシップ」は、就業を体験するだけでなく、産業界や企業、現代社会や地域、行政の抱える課題に、学生自らが学び、活動する中で気づき、その解決方法を模索し、提案することも目的としています。この過程によって、学生は自ら学び、考え、発信するという主体的な学びや能動的な能力を身につけることができるようになります。このようなインターンシップを実施するために、産業界等と大学が今まで以上に密接に連携し、大学が産業界のニーズを的確に把握をし、プログラムを構築していきます。



### 正課科目「インターンシップ」 受講生のサポート及びフォロー講座の充実

本学では3年生の春学期に「インターンシップ」を受講し、3年生の夏休みに研修先企業で就業体験しますが、インターンシップでの学びと自らの成長を更に実感できるようなサポート及びフォロー講座を拡充していきます。



### 学生による 「企業紹介パンフレット」の作成

学生への教育効果を高めるために、職業観や勤労観を涵養するためにも、企業を主体的に、深く学ぶ機会は重要です。さらに、学生自らが企業と交渉し、取材し、企業の紹介パンフレット等を作成することによって、学生の「自ら考え、行動し、課題を発見し、それを解決する力」を育むことができます。また、この作成に関わらなかった多くの学生にも、作成に関わった学生の成長を周知することができ、双方の学生にとっても教育効果の高い刺激を与えることができる取り組みになります。



### 「CUCキャリア・カルテ」の改善と 「インターンシップ」との連動

学生が「インターンシップ」での経験を有意義なものとし、自身の成長を実感し、大学での学び、そして社会に出てからの就労に役立てるためにも、インターンシップの事前の目標と計画、事後の自己評価は重要です。そこで学期ごとに『目標と計画を立て、実行し、一定期間後に自己評価を行う』というプロセスを繰り返す「CUCキャリア・カルテ」によって、インターンシップを通じた自らのキャリア・アップを確認、実感できるようにカルテを改善し、活用していきます。この結果、大学4年間の学びとインターンシップでの研修が更に教育効果の高いものになります。



### 就業力を高めるためのキャリア教育の教材開発と 作成及びキャリア教育、サポートの充実

本学の全学生を対象に、初年次から就業観、勤労観の涵養のために、大学4年間の学びの中で自らのキャリアデザインとキャリア・アップを意識づけられるような教材を開発し、作成し、活用します。また、学生自らが考え、行動し、課題を解決する力を育むためのキャリア教育、サポートに関する新しい取り組みや既存の取り組みの拡充を進めます。